新型コロナ関連緊急オンラインセミナー（資金対策編）～

新型コロナウイルスで
中小事業者が資金対策でやるべきこと～

講師：宇賀田会計事務所 所長 公認会計士・税理士・行政書士 **宇賀田 伸彦**氏

【主な内容】
・資金繰り検討の優先順位をつける
・資金調達の取り組む順番
・セーフティネット（4号、5号）、民間金融機関（銀行や信金等）
・政府系金融機関（日本政策金融公庫、商工中金）
・税金と社会保険料をしばらくおさめない
・返さなくてよいものはとりあえず申請する－など

【プロフィール】
宇賀田伸彦（うがた・のぶひこ）
宇賀田会計事務所　所長
公認会計士・税理士・行政書士
長野市出身。1975年（昭和50年）生まれ。44歳。
長野県長野高等学校卒。慶応義塾大学商学部卒。
中央青山監査法人（消滅）を経て、2007 年に長野に戻り、父の事務所を承継開業。地元の疲弊を切に感じつつ、長野経済の発展と、若年層が希望を持って頑張れる世の中というのにどうしたら貢献できるかなと考えながら会計事務所を経営中。
日本公認会計士協会東京会長野県会副会長、長野青年会議所副理事長などの要職を歴任。

まずは、落ち着いて前を向く

資金繰り検討の優先順位をつける

☆　どれくらいお金が足りないか

☆　いつまでに必要か

☆　払う優先順位をつける
（給与と業者が優先、金融機関は相談する）

☆　コロナ対策の助成は次々発表されているので、情報収集を怠らない
（経済産業省のＨＰ、都道府県市町村のＨＰ、信用保証協会など）

資金調達の取り組む順番

1．「とりあえず借りる」が正しい選択

自己資金使用はあとで使う　手元の現金が最大のリスク管理

①まず、いま取引のある金融機関に相談する（調達は通常最速）
②なければ、お近くの金融機関、政府系金融機関に相談
③足りなければ、別の金融機関に相談する
（それでもだめならリスケジューリング）

2．もらえる給付金は申請しておく（時期はあてにならない）

3．税金や社会保険をとりあえず納付しない手続きをとる

セーフティネット（４号、５号）
民間金融機関（銀行や信金等）

４号が売上前年同月比２０％減（１００％保証協会保証）
５号が売上前年同月比　５％減（　８０％保証協会保証）

・一般金融機関が窓口になるので比較的迅速
・売上減少は、他機関による証明が必要
・据え置き最大5年
・枠は最大2.8億円（一般と別枠）
・危機関連保証併用で拡大可能
・売上前年比15％以上減で3000万まで3年間は保証料と金利ゼロ
・ほかに各地方公共団体で、保証料補助や利子補給制度ある場合も
・個人事業主（フリーランス）は売上減５％でも３年間保証料と金利ゼロ

政府系金融機関
（日本政策金融公庫、商工中金）

日本公庫の新型コロナウイルス対策融資は、いろいろあります
危機対応融資（商工中金）

・売上前年比5％減が基本（その他要件も）
・売上減少は、本人申告ベース
・枠は制度によるが最大3億円（別枠）
・据え置き最大５年
・３年間実質無金利・無担保・保証料なし
・事業規模、事情に応じた種々制度があるので可能性が広がりやすい
・一回の融資に限らず使える
・職員が少ないので時間はかかるかも

税金と社会保険料をしばらくおさめない

１．税　金

- 消費税・法人税・所得税などは納税を待ってもらえる
  売上前年比２０％以上減少で、納税を１年先送りできる
  手続きは借入するよりかなり簡単
  ２０％減でなくても相談に応じてもらえる
- 地方税も待ってもらえる自治体もある
- 来年の固定資産税が　収入３０％以上減で半額　５０％以上減で免除

２．社会保険料（厚生年金、労働保険など）の猶予

最大１年
客観的な基準は明記ないので、相談窓口で相談する

返さなくてよいものはとりあえず申請する

１．持続化給付金

金額は、小さいかもしれないけどもらえる

法人２００万円　個人事業者等は１００万円と

前年売上－５０％減した売上×１２のいずれか小さい方

- いつ入金は不明だが申請から２週間程度らしい
- 要件は、いずれか１カ月の売上が前年同月比で５０％以上減少
- 税務申告書、売上減少の帳簿などが必要
- 今のところ申請方法、入金時期等は具体的に示されていないので要確認

返さなくてよいものはとりあえず申請する

２．休業協力金

- 特措法指定の業種の業者に都道府県が休業要請して応じた場合に支給される

- 金額その他手続きは各都道府県で異なる

  長野県だと３０万円。東京都だと５０万円（最大１００万円）

  申請開始、申請方法はまだ不明確

  入金時期は５月下旬以降

ほかにできそうなこと
やらないほうがいいこと

やったほうがいい

・テナント家賃の交渉（一応国交省から協力要請も出ている）
・使えそうな助成金の利用
（サービス補助金、IT導入等　要件が緩和されている）
・普通の世界になったときの展開を考える

やらないほうがいい

・小規模企業共済の融資（破産しても差押さえされない）

一個一個やりましょう

そのうち必ずこの状況は過ぎ去ります！

あまり先を見ずに、目の前のことを

着実にやっていきましょう